

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 豊橋市立高師台中学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 441-8113

愛知県豊橋市西幸町字浜池 328

E-mail takashidai-j@toyohashi.ed.jp

Website http://www.takashidai-j.toyohashi.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 353名 女子 316名 合計 669名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「地域とともに共生」を ESD の学校理念として、活動の柱と捉え、ESD の実践を通して地域社会に育む他者理解の力の育成を目標とした。具体的には、防災・環境を柱に、①防災に係わる活動、②環境に係わる活動を行った。

### ① 防災に係わる活動

#### 「高師台校区青少年健全育成会講演」

阪神・淡路大震災が起きた 1995 年 1 月 17 日に生まれた中村翼氏を講師に迎え、「助け合いのすばらしさを伝えたい～1 月 17 日に生まれて～」とのテーマで話をしてもらった。講演の内容は、大学の卒業を前に、両親に当日の様子を詳しく聞き、多くの人々に助けられて生を受けたことを知ったこと。

揺れの瞬間に父親が母親に覆いかぶさって守ってくれたこと。破水した母親を見ず知らずの女性が車で休ませてくれたこと。病院への道は大渋滞だったが警察官が誘導してくれたこと。停電で真っ暗な病院で生まれ、直後に倒壊の危険から避難したこと…壮絶な一日だったが、両親に命を守られ、周りの人々に支えられていたこと。

中村氏の話聞いて生徒の感想は、震災の恐ろしさを知るとともに、人々が協力し支え合うことの大切さを感じ取ることができた。自分たちもいざというときに動けるように、いつ来るかわからない災害に対して今できることをしっかり準備していきたいなど、前向きな感想がたくさんあった。

保護者をはじめとして、地域の方が多く参加した。この内容を家族・地域で共有できたのは、とてもよいことであった。

### 「私たちにもできる防災活動」

毎年1年生の総合的な学習において「中学生として行動するために」をテーマに防災についての学習を行い、防災に対する興味をもたせ、防災についての学習を通して中学生としての行動を考えようとする意識を高める学習活動を行っている。これ以外にも、段ボール避難所体験や竹と毛布を使っての搬送方法なども体験した。このように、防災に対してみんなで考え、実際に体験したことを家庭で共有することにより、防災に対する意識を自分だけではなく地域にも還元した。

## ② 環境に係わる活動

### 「ペットボトル・エコキャップ回収と地域の清掃活動」

環境委員会が中心となってペットボトル・エコキャップ回収を行い、リサイクル意識を高める活動を行っている。また、実践的な美化活動として、生徒会が中心となり、休日の土曜部の早朝（12月9日）に校区内の公園や歩道等の清掃活動を行った。この活動はボランティアによるもので、500名以上の参加者があり、校区を自分たちの力で美しくしようとする意識を育てている。



講演会



新聞紙でスリッパをつくろう



高師台クリーンアップ



エコキャップ回数活動

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、ユネスコスクールの活動を特別活動と総合的な学習の指導計画の中に位置付けている。特別活動では環境教育。1年では災害時の対応（防災教育）。2年では職業社会（職場体験学習）、3年では、地域社会（地域懇談会）である。これらを学年テーマの柱として、各教科・領域においても関連する内容を年間計画に位置付けている。このように多方面からアプローチできるように計画的に実施することでESD活動ができるように工夫している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校では、ユネスコスクールの活動にあたり、全教職員が共通理解のもと取り組んでいる。校内現職研修委員会の特別活動、総合的な学習、道徳、教科の各部会において本年度の活動状況を点検し、次年度への改善点や新たな取り組みの指針を提案する。それをもとに、各学年で具体的な活動方針を決めるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

12月末に行う学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員、外部評価委員）を実施している。本年度のユネスコスクール関連の質問項目の結果をみると、どの対象も高い満足度を示している。今後の課題としては、地域とのかかわりを多くしながら、地域とともに成長していく取り組みが必要であろう。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学年通信を通して活動の様子を保護者に発信している。また、地域には学校新聞、PTA新聞、青少年健全育成会報などで、学校の取り組みを地域の方に理解してもらうように回覧・発行している。これらの発信が学校評価アンケートの結果に表れている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

教育委員会と連携しながら、指導助言等をしてもらっている。必要に応じて協働できる団体等を紹介してもらうようにしている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

現在において、国内外のユネスコスクールとの交流はない。ただし、市内同士の学校間では、常に情報交換できる体制にある。まずは、同じ校区の小学校と交流していく予定である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

生徒も教師もESD活動を意識しているわけではなく、教育活動の中で自然な形で学習が展開していることが多い。活動後に振り替えることで、教師がESD活動とは何かを確実に理解できる。それにより、理解を深めた教師が指導に携わることで、さらに質の高まりが期待できる。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

6月～11月	1年「防災教育」
6月～10月	2年「職場体験学習」
9月～12月	3年「地域懇談会」
4月～3月	全校「エコキャップ回収活動」
8月	全校「地域防災点検」